

平成 28 年 7 月 7 日 00281 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

URL http://www.kitamibudokan.org/

**ニュースレター【事務局情報】特報！北見柔道連盟が連覇達成！** 6月26日斜里町立武道館で北見網走紋別の柔道連盟が主催する「第61回北見・網走・紋別三地区対抗柔道大会」「第36回三地区ジュニア柔道大会」が開催されました。北見勢が団体優勝を果たし、一般2連覇ジュニア9連覇を達成しました。武藤弘司連盟会長は「毎週金曜日、北見市武道館で合同強化練習が出来たことが大きい」また、四戸巧監督、中澤伸一ジュニア監督は「皆で励んできた甲斐がありました」と



優勝の喜びを伝えてくれました。※シリーズ北見市武道館トレーニング器具と安全使用！は次週紹介します。

優勝の喜びを伝えてくれました。※シリーズ北見市武道館トレーニング器具と安全使用！は次週紹介します。

## 第21回北見市総合武道祭 北見市総合武道祭各団体の演武状況！



主催：北見市武道振興協議会 共催：NPO 法人北見市武道振興協会で行われた第21回北見市総合武道祭の演武状況を毎週ご紹介しています。演武2番目は、北見合気武道会が行いました。伊藤隆史師範が見守るなかで、合気を習うチビっ子武道家が攻撃と防御の形を披露し観客を楽しませました。また、演武の最後には、伊藤師範自ら合気極意の技を披露し観衆を魅了しました。

## 連載「武道宝鑑」第6弾 剣道の奥義を語る 高野佐三郎 大日本武徳会剣道範士

高野 戦うには、今の審判員が居て、どうゆうことにも絶対<sup>ふくじゆう</sup>に服従<sup>ふくじゆう</sup>するという約束も、武士道<sup>ぶしだう</sup>の精神<sup>き</sup>から来たのであるが、今のように審判規定<sup>しんぱんけいぎん</sup>などが定まった以上は、選士<sup>せんし</sup>にも異議<sup>いぎ</sup>を唱える権利<sup>けんり</sup>を與えるのが当然<sup>とうぜん</sup>であろう、どんな審判<sup>しんぱん</sup>をせられても審判員<sup>しんぱんいん</sup>に委<sup>まか</sup>して置くというのでは、無理<sup>むり</sup>があると思<sup>おも</sup>うのですが、そいつ<sup>そいつ</sup>を許<sup>ゆる</sup>せば自然<sup>しぜん</sup>みだれるのでやらないのだけれども先達<sup>たいしやう</sup>で荒木貞夫大將<sup>あらかみさだお</sup>が『先生<sup>せんせい</sup>、どうも審判員<sup>しんぱんいん</sup>の審判<sup>しんぱん</sup>をせねばいけませんね』といわれたが、荒木閣下<sup>あらかみかつか</sup>はどうも仲々<sup>ななな</sup>うがったことを言われました。以前<sup>いぜん</sup>は、審判者<sup>しんぱんしや</sup>は選士<sup>せんし</sup>一同<sup>いどう</sup>が、公平<sup>くわいひん</sup>無私<sup>むし</sup>で腕前<sup>うでまへ</sup>も秀<sup>すぐ</sup>れた人で、この人なら服従<sup>ふくじゆう</sup>するという人を選<sup>えら</sup>んだものです。問<sup>と</sup> 数年前<sup>すうねんぜん</sup>から試合<sup>しあひ</sup>は一本勝負<sup>いっぽんしやう</sup>でなければならんということ<sup>こと</sup>を強<sup>つよ</sup>く主張<sup>しやう</sup>して居る方<sup>かた</sup>があるようですが、なかなか用<sup>もち</sup>いられませんね、確<sup>たし</sup>かに昔<sup>むかし</sup>は一本勝負<sup>いっぽんしやう</sup>だったと思<sup>おも</sup>うのですが、どうも三本勝負<sup>さんぽんしやう</sup>は本当<sup>ほんとう</sup>でないようですが如何<sup>いか</sup>ですか。・・・つづく